

みえ子のおしゃべり

私は3学期制移行を望んでいます。2学期制は1学期終了式が10月上旬です。3学期制は、長い夏休みを迎える前に1学期終了式を行い通知表を貰うので、子ども心にけじめが出来て子どもの成長に合っていると思います。南陵中学校は定期テストが7月にあるのに通知表は10月です。他の中学校では9月に定期テストです。それでは、夏休み中もテストが気になる子どもも多い事でしょう。あるいは気にしないでテスト勉強しなかった子どもは、夏休み明けのテスト結果も悪く、やる気も薄くなるのではないかと心配してしまいます。「塾があるから大丈夫」と言う方も多いですが、それでは公立学校の役割はどうなるのか？塾に行けない子どもはどうなるのか？と悩みます。

藤本市長の公約に「3学期制実施」があります。「選挙で選ばれた市長公約は、民意だから教育長は尊重すべきだ」と、私は一般質問で発言しました。現に、「3学期制移行を、望んでいる市民の方々は多いです」平成25年度から高崎市の全小・中学校は2学期制から3学期制に移行しました。市民のみな様の誰一人からも抗議の声はなく、「良かった」の声ばかりだそうです。しかし、協議員（会派：共生）が私の一般質問の終了後に「市長公約は民意ではない」と、私の発言に問題があるように動議をかけました。私と考えが違えば、ご自分の一般質問で言えば良いと思うのですが、学期制の質問を協議員は一度もしていません。その後、議会運営委員会でこの部分について話し合いましたが勿論、「浅野議員の一般質問は特に問題はない」となりました。

実は、今議会で「教育委員会委員」を一人増やす条例が採択されました（5人から6人に）私は賛成しました。教育委員会は、教育はもちろんの事、34万人所沢市民の為の文化、芸術、スポーツ、社会教育等々に対して審議するのですから、多くの意見を取り入れる事が相応しいと考えます。これに対し、共産党、民主ネットリベラル、会派共生の10名の議員が反対しました。理由は、「藤本市長が教育委員に電話をして学期制の事で委員会会議の内容を聞いたり意見交換をした事は、教育への政治の介入だ。その市長が唐突に教育委員を増やす事には賛成出来ない」としています。

政治の介入とは何なのでしょう？多くの議員は、議会と役割の違う市長や市執行部の方の所に行き、議案の事や市民要望、自分の選挙時の公約について、意見交換をしたり話をしていきます。教育長へ話に行く議員もいます。議員は行っているのに「市長が教育委員と話す事は良くない」と言うのは何故でしょう？私は、教育委員会は閉鎖的ではなくもっとザックバランにいろいろな場で、市長、執行部、教育長、教育委員、議員、市民のみな様と、学期制について話し合い意見交換する等行った方が良いと思います。主役は子どもです。子ども達の為に。ちなみに、埼玉県内63市町村中、全校が2学期制なのは、所沢市、熊谷市、幸手市、越生町、鶴ヶ島町のみです。2学期制実施の学校数は、小・中学校合わせて、13.1%と少ないです。

所沢駅東口ロータリー喫煙所が移動しました。（バス停の前は、相応しくないとの声が多く）

市議：浅野みえ子発行レポート

浅野みえ子事務所：「くすのき台ココス2軒先」

自宅は北秋津876-3所沢コーポラスH204

TEL (2995) 1463

FAX (2991) 3538

メール asanomieko@nifty.com

HP有り：日々の活動をブログで記録しています

浅野みえ子と検索して下さい。すぐ出ます

